

製品・サービス動向-国内

■ポリコムジャパン：「Microsoft Teams」および「Skype for Business」環境の会議エクスペリエンスを向上させる「Polycom + HP SRS バンドル」を発表

(3月8日)

ポリコムジャパン株式会社 (<https://www.polycom.co.jp/>) (東京都新宿区) は、「Microsoft Teams」および「Skype for Business」環境の会議エクスペリエンスを飛躍的に向上する「Polycom + HP SRS バンドル」を発表した。



Polycom + HP SRS バンドル (ポリコムジャパン)

Polycom + HP SRS バンドルは、中規模から大規模会議室向けのマイクロソフト対応ビデオ会議システム。汎用性の高い「HP Skype Room System(SRS)」上で利用できる Microsoft Teams および Skype for Business と、ポリコムの高品質な音声と映像をネイティブに連携できるのが特徴となっている。

中規模会議室向けの Polycom + HP SRS バンドルには、Microsoft Skype Room System をプリインストールし、会議室でのコラボレーション機能に特化した「HP Elite Slice for Meeting Rooms G2 Audio Ready」に加え、「Polycom Trio 8500 音声ソリューション」(マイク集音範囲は約 4.3m、Polycom HD Voice・

Polycom NoiseBlock 技術搭載など)、「Polycom Eagle Eye IV USB カメラ」(特長：1080p/30fps、12 倍光学ズームなど)が含まれている。

一方、大規模会議室向けは、以上の3点の構成と同じだが、Polycom Trio 8500 に拡張マイクが付けられた形になっている。



使用イメージ (ポリコムジャパン)

柔軟性の高い SRS 製品を使用することによって、専門知識がなくてもビデオ会議を迅速にセットアップすることができ、簡単に管理・導入・機密性を確保することができるという。加えて、Polycom Trio および Polycom EagleEye IV USB カメラとを組み合わせることによって、Microsoft Teams および Skype for Business 環境でより快適なビデオ会議を実現できるとしている。

ポリコムの認定販売代理店を通じて3月8日より正式に販売開始する。価格は全てオープンとなっている。

■サンワサプライ：テレビ会議に最適な、32～55型液晶・プラズマテレビスタンド「CP-PL31BK」を発売

(2月19日)

サンワサプライ株式会社 (<https://www.sanwa.co.jp/>) (岡山県岡山市) は、テレビ会議に最適な、32～55型液晶・プラズマテレビスタンド「CP-PL31BK」を発売した。



液晶・プラズマテレビスタンド：カメラ台は上もしくは下に取り付け可能（サンワサプライ）

カメラ台（耐荷重 3kg）を取り付けられるため、テレビ会議用の大型テレビとカメラを1台のスタンドにまとめて設置できる。大型テレビ、テレビ会議システムと同時に購入するテレビスタンドとして最適という。

32～55型までの液晶テレビ・ディスプレイを搭載できる。画面角度を上方向に5度、下方向に15度まで変更することができるため、天井照明や周囲の映り込みを防ぐように調整可能となっている。また、カメラ台はディスプレイの上下どちら側にも取付ことができ、会議の参加者が俯瞰できる位置や参加者の顔が見える位置など、目的に合わせて選べるという。

スタンドには、ストッパー付の直径75mmの大きなキャスターが付いており、テレビの装着前や掃除などの際に移動させることができる。

また、配線用のケーブルダクトが支柱内部にあるので、ケーブルが乱雑にならず見た目を美しくできる。加えて、支柱には別売りの棚板（CR-PLNT3BK）を2枚取りつけることが可能。テレビや会議システムのリモコン、パソコン、BDプレーヤーなどを置くことができる。スタンド1台に必要な機器すべてを集約することができるとしている。

セミナーレポート-国内

■プリンストン：「ポリコムビデオ会議システムで業務効率UP!!体感フェア」を開催、ポリコム新製品やBlueJeans、プラントロニクスとの合併後の展開予定など紹介

(取材：3月8日)

株式会社プリンストン (<https://www.princeton.co.jp/>) (東京都千代田区) は、3月8日午後、秋葉原にて「ポリコムビデオ会議システムで業務効率UP!!体感フェア」を開催した。プリンストンはポリコムのプラチナ認定パートナー。

ポリコム製品を実際に触って体験できる催しで、新商品のほか、プリンストンが新しく取り扱いを開始したクラウド会議サービス「BlueJeans」を使ったポリコム製品の新しい活用方法などが披露された。



会場入り口から見た展示コーナー

会場に入ると、まずは音声会議に加えビデオ会議やコンテンツ共有を可能にする「Polycom Trio 8800 コ

ラボレーションキット」が展示されていた。「Trio Visual+」とカメラを標準でバンドルしたキットで、最大 1080p30fps のビデオ会議/コンテンツ共有、そして半径約 6mの集音性能で小規模から大規模までの会議室をカバーする。

またその奥では、BlueJeans（ポリコム エコパートナー）のクラウド上の会議室にポリコム端末を接続したデモを行っていた。ポリコムの RealPresence Group シリーズや Trio シリーズのほか、パソコンやモバイルデバイスからの会議参加がシンプルかつ便利快適に行え、最大 100 端末の接続も可能な安定性と信頼性もあるという。

ポリコムの高機能なカメラ自動制御システムである「Polycom EagleEye Director II」も展示。カメラを2台使用することで、ディスカッション時には室内全景映像に、そのうちのひとりが話者になったときにはその話者のズームアップ映像に自動的に切り替えることができる。リモコン操作する煩雑さを省き自然に会話が行えるようになっている。



BlueJeans デモ（左）と Polycom EagleEye Director II



展示コーナー最奥に展示されていた Polycom Studio

プリンストンオリジナルソリューションである「コンパクトビデオ会議ステーション」は「Polycom Group」本体と液晶ディスプレイをコンパクトにオールインワンした製品。プリンストンでは「VESA スタンドキットモデル」と「VESA ブラケットキットモデル」の2つを用意している。

その最奥には、国内向けに2月7日に発表されたばかりの、USB ビデオソリューション「Polycom Studio」を展示。ハドルルーム向けのオールインワン USB カメラで、水平視野角 120 度のカメラ（5 倍デジタルズームもあり）に加えステレオマイクとステレオスピーカーを搭載している。BlueJeans、「Microsoft Teams」などのビデオ会議のカメラとして使用でき、カメラの切り替えが速いところに特長がある。音に強いポリコムの技術である、「Polycom Acoustic Clarity」「Polycom NoiseBlock」「Polycom Acoustic Fence」も搭載されている。昨年のプラントロニクスとの合併による最初の製品となる。早速、引き合いが多いという。

以上の各製品の他、Bluetooth/USB 対応ポータブルスピーカーフォン「VoXBox」やプラントロニクスのヘッドセットなども展示されていた。



セミナー講演の様子

一方セミナーでは、4月には社名変更も控えているポリコム ジャパン 株式会社 (<https://www.polycom.co.jp/>)（東京都新宿区）より講師を招き、昨年のプラントロニクスとの合併を受けてポリコムの今後の動きなどが紹介された。

講演では、市場成長力とトレンドにも言及し、まだ

まだビデオ会議事業が成長する余地があると期待感を見せた。その理由のひとつとして、アジア太平洋地域市場の状況を引き合いに、今後 CAGR15.3%の成長が予測されていることを挙げた。

トレンドの面では、ビデオ活用により多くの情報を共有できるメリットがあるものの、コミュニケーション手段が多様化しており、社内でひとつのものを使うのではなく複数のものを使う方向に進んでいくだろうという見方を示した。

そういった動きの中で、ユーザからは確実にコミュニケーションを取れる手段が求められていると指摘。そこでポリコムとしては、これまでの実績をもとに最高の品質でシームレスに統合する形で各種ソリューションを提供していく戦略だ。

一例としては、要となるマイクロソフトのほか、BlueJeans、Zoom、Avaya、ジェネシスなどエコパートナーとの連携をさらに強化していく方向だ。

また製品面では、今後も MCU などのインフラ製品の提供を継続しつつ、プラントロニクスとの連携をもとに、ヘッドホンやポータブルスピーカーなども含めたビジネス向けやコンタクトセンター向けの製品ラインナップのさらなる拡充を図る。

今回の主催者であるプリンストンは 1996 年以來の長年のポリコムパートナー。これまで何度も「No.1 ポリコムパートナー認定」を獲得した実績がある。ポリコム全製品の取り扱いはもちろん、オリジナルソリューションも含め、検討段階から導入、アフターサービスまでワンストップに提案およびサポートできている。

PR

■ヤマハ株式会社



ユニファイド
コミュニケーション
スピーカーフォン YVC-200

<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-200/index>

セミナー・展示会情報

<国内>

■ビキューブセミナー情報（3月～4月）

「災害現場の今を共有出来ていますか？災害発生の混乱時、意思決定のスピードと質を向上」、「働き方改革セミナー 失敗しない「Web会議」「テレビ会議」選び方徹底解説」「<スマートグラス体験セミナー>ハンズフリーで現場作業を遠隔支援！」「2分でかんたん動画作成 社内動画活用で働き方改革を推進！」など

会場（東京・大阪・名古屋・福岡・Webセミナー）

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■リコーグループ国内4万人で実践！ Office 365 活用事例～リコー事例から学ぶ Office 365 セミナー～

日時：3月18日（月）15:00～17:30（受付：14:30～）

会場：日本マイクロソフト 品川本社

主催：リコージャパン株式会社

共催：日本マイクロソフト株式会社

詳細・申込：<http://www.rioh.co.jp/event/seminar/18S326.html>

■働き方改革（ワークスタイル変革）実践事例セミナー
～コミュニケーション・コラボレーション変革からはじめ
る働き方改革～

日時：3月19日（火）14:00～16:00（受付：13:30～）
会場：リコージャパン 晴海トリトン事業所
主催：リコージャパン株式会社
詳細・申込：<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/18S350.html>

■手軽にはじめられるテレビ会議・Web 会議システムのご
紹介～RICOH UCS で、いつでも・どこでも、だれでも・だ
れとでも繋がります！～

日時：3月20日（水）13:15～16:30（受付：13:00～）
会場：リコージャパン 晴海トリトン事業所
主催：リコージャパン株式会社
詳細・申込：<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/18S312.html>

<海外>

■EnterpriseConnect 2019

日時：3月18日～3月21日
会場：アメリカ フロリダ州オーランド
Gaylord Palms Resort & Convention Center
主催：United Business Media company
詳細・申込：<http://www.enterpriseconnect.com/orlando/>

■LiveVideoStackCon

日時：4月19日～20日
会場：中国・上海、上海光大会展中心国際大酒店
主催：LiveVideoStackCon
詳細・申込：<http://sh2019.livevideostack.com/>
※マルチメディア技術の分野におけるオーディオ&ビデオテクノロジーカンファレンス。

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

■PDFファイル版（1号毎PDFファイル）

>2003年～2018年最新号（1号毎PDFファイル）

<http://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

■電子ブック版（複数号まとめているのもあります）

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2017年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2019年3月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp